

第2部課程第169期 (平成26年1月9日～平成26年3月19日)

課 目 名	8-3 スピーチ演習
時 限 数	2時限
担 当 講 師	(株)話し方研究所講師 島野 浩二・新井 均・東 則行・小島 健二・片山 啓子・一色 令子 奥山 晴治・菊池 雅彦 <プロフィール> 話し方研究所講師資格を取得後、現在にいたる
ね ら い	本演習では、「庁内講師ステップアップ研修」の「プレゼンテーション講義」を踏まえ、実際に簡単なスピーチを体験することで、人前で話し方の基本を学び、その要領を修得することをねらいとする。 2部課程での研修修了後、各自庁内で講義を担当するときに備える。
演 習 概 要	人前で話す力の土台になるのが、「スピーチスキル」である。 演習を通してスピーチのスキル向上をめざす。 1. 導入講義「スピーチの基本」 —大勢の前で話す際の基本形+準備について 2. 実習「〇〇を提案する」3分間スピーチ (事前準備あり) ……前半 —「〇〇」は自由に設定し、聴衆を特定する —全体の前で一人ずつ発表 —発表3分→講師コメント3分 3. 講義「表現の3原則」 —わかりやすく、簡潔に、印象深く 4. 実習の続き ……後半
受 講 上 の 注 意	実習の3分間スピーチについては、事前に準備をしておいてください。 ◆スピーチタイトル 「〇〇を提案する」 1. 「〇〇」は自由に各自設定する 2. 聴衆を特定する (例: 住民・後輩・協力会社等) 以下は参考例です。 (例)「住民にボランティア参加を提案する」 (例)「協力会社に業務の改善を提案する」 (例)「職場の後輩に部署の年度方針を提案する」
使 用 教 材	・『あなたの「話し方」がダメな理由』福田 健著 (経済界) ・テキスト「スピーチコース」(話し方研究所)
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	